

科 目 名		学 年
応用情報処理: Advanced Information Processing		5E
教 員 名 岡村好庸 OKAMURA, Yoshinobu		
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分
1	100分×15回	選 択
授 業 概 要		授 業 形 態
コンピュータリテラシー、構造化プログラミングの次の段階のソフトウェア学習としてオブジェクト指向プログラミングを学習する。コンピュータに関する基本的な知識を下にプログラミングに関する専門的な技術を習得し、効率的な情報システムの構築ができる能力を養う。		講義/演習・後期
学 修 単 位		○
到 達 目 標		評 価 方 法
(1) オブジェクト指向プログラミングの基本的概念が理解できる。(2) オブジェクト指向言語Javaを用いたプログラミングができる。		評価方法は、①中間試験(40%)、学年末試験(40%)とする。②自学自習によるレポート(20%)
学 習 ・ 教 育 目 標		(B)① JABEE基準1(2) (c)②
回	項 目	内 容
第1	導入	Hello Worldの出力プログラム作成
第2	Javaプログラムの概要(1)	stringcopy&repeatプログラム作成
第3	Javaプログラムの概要演習(1)	オーム返し、文字列反転(reverse)、Calcプログラム作成
第4	Javaプログラムの概要(2)	構造体とクラス(exconst1プログラム作成)
第5	Javaプログラムの概要演習(2)と概要(3)	構造体とクラス演習(exconst1プログラム作成、Sample_Employee作成)
第6	Javaプログラムの概要(3)	復習、継承の概要
第7	Javaプログラムの概要演習(3)	継承の応用演習(Sample_Managerプログラム作成)
第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。
第9	簡単なソート	ソートプログラムの概要
第10	簡単なソートの演習(1)	バブルソート、選択ソート、挿入ソート(program5-1YO作成)
第11	簡単なソートの演習(2)	バブルソート、選択ソート、挿入ソートのコスト比較(program5-2YO作成)
第12	再帰プログラム(1)	三角数、ハノイの塔 p80_factorial,program6_1
第13	再帰プログラム(2)	8クイーン問題、program6_2YO
第14	クイックソート	クイックソートの概要と演習、program7_1YO
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また、授業評価アンケートをおこなう。
自学自習の内容		レポートを課す。
関連科目	情報処理1、2、3 基礎情報理論	
教科書	Javaによるプログラミング 芳賀博英、新淳著 森北出版	
参考書	JAVAの達人 田中成典等編集 森北出版	
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員		
備考		